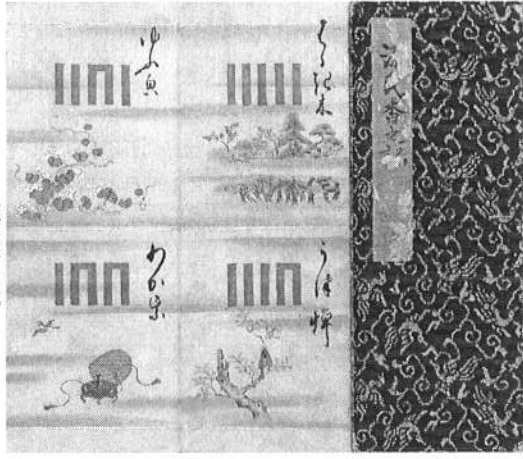


源氏物語

遊興の世界

二〇一二年九月一五日(土)〜一
二月二日(日)と逸翁美術館で開催
される同名展、同日程で池田文庫
で開催される「宝塚歌劇の源氏物
語」展での展示図録。

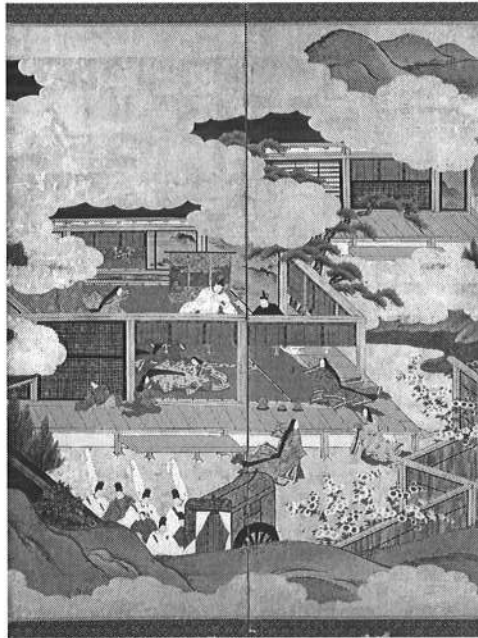


源氏香之記
(江戸時代・阪急文化財団)

二〇一二年九月刊行



源氏物語八景絵巻
(部分、江戸時代・個人蔵)



源氏物語図屏風 左隻
(中央部分、江戸時代・阪急文化財団)

逸翁美術館
池田文庫 編

▼A4判・九八頁

定価一、〇五〇円(税込)


ISBN978-4-7842-1655-0

描かれた『源氏物語』を中心に、雅やかな世界を現代に蘇らせる。特に物語に描かれた「奏楽」「舞楽」「碁」など「遊興」に注目し、屏風や画帖などに鮮やかに再現された「遊興」の世界をたどる。
また「幻の写本 大澤本源氏物語」や、宝塚歌劇で演じられた『源氏物語』も紹介する。

- 〔内容目次〕
- ごあいさつ
- 〔図版解説〕
- 〔華麗なる遊興の世界〕
- 〔論考〕
- 源氏物語の遊興の世界：伊井春樹
- 特別展示
- 「幻の写本 大澤本源氏物語」について
- 「源氏物語」年立／出品作品一覧
- 宝塚歌劇の源氏物語：酒井利枝
- 出品一覧

思文閣出版

〒605-0089 京都市東山区元町355 tel.075-751-1781 fax.075-752-0723
http://www.shibunkaku.co.jp E-mail:pub@shibunkaku.co.jp

注文票		発行：思文閣出版		(京都 取引コード 3402)	
冊数	冊	源氏物語 遊興の世界		本体1,000円(税別)	ISBN978-4-7842-1655-0
お名前		tel			
		e-mail			
ご住所	〒				
送本方法	<input type="checkbox"/> 書店経由 (このちらしを書店にお渡し下さい) <input type="checkbox"/> 代引 (書籍代+送料を現品と引き替えにお支払い)				
				書店番線印	

歴史のなかの源氏物語

山中裕編

〈シリーズ古典再生③〉

撰関時代の文化のあり方、特に藤原道長の存在と紫式部との関係に重点を置いた編者自身の『源氏物語』論を第一部とし、第二部以降では、准拠論、年中行事・通過儀礼の宴と儀式の本質など、15人の気鋭が歴史のなかの源氏物語について最新の研究成果を展開する。

▶46判・310頁／定価2,310円

ISBN978-4-7842-1423-5

日本の心と源氏物語

岡野弘彦編

〈シリーズ古典再生②〉

記紀や万葉集などの広い視点から、師である折口信夫が体系化できずに終わった「いろごみの道徳」論に向きあい、『源氏物語』に流れる日本の心を読み解く。【内容】『源氏物語』から読む日本人の心の伝統／『源氏物語』の演習方法と実際／民俗学から読む『源氏物語』他

▶46判・246頁／定価1,890円

ISBN978-4-7842-1412-9

※一千年目の源氏物語

伊井春樹編

〈シリーズ古典再生①〉

単なる古典復興ではなく、それらの作品を現代の眼でもう一度見直して再生することを目指して開催されたシンポジウム「一千年目の源氏物語」と「私の源氏物語」を元にし、斯界の識者による「源氏物語論」を集約。次の世代へとその価値を継承する。

▶46判・252頁／定価1,680円

ISBN978-4-7842-1408-2

源氏物語 千年のかがやき

国文学研究資料館編

新出の国文学研究資料館蔵『源氏物語団扇画帖』全54枚をカラーで掲載し、詳細な解説を付す。あわせて図様が近似する他の源氏絵についても参考資料として多数掲載。源氏物語が千年間どのように享受されてきたのか、豊富なカラー図版で紹介する。

▶A4判・168頁／定価1,995円

ISBN978-4-7842-1437-2

※源氏物語の地理

角田文衛・加納重文編

作品の世界を構築しながら微妙に交差する虚構と実在。これまで等閑視されてきた『源氏物語』の地理的考察において創始的な意義を持つ研究論文を集成し、作品中に形象した地理的世界の把握を目指すアンソロジー。

▶A5判・436頁／定価6,510円

ISBN4-7842-1010-5

石山寺の信仰と歴史

鷺尾遍隆監修／綾村宏編

琵琶湖畔瀬田川のほとりに構える石山寺は、西国三十三所札所として知られ、紫式部が源氏物語の着想を得たという伝説が残るなど、その信仰と文化が育み守られてきた名刹である。石山寺の信仰・歴史・美術・文学・経典を豊富なカラー図版とともに解説。

▶A5判・178頁／定価1,890円

ISBN978-4-7842-1387-0

絵巻 大江山酒吞童子・芦引絵の世界

逸翁美術館編

逸翁美術館で行われている同名展の図録。館所蔵「大江山絵詞」（重文）とサントリー美術館所蔵「酒伝童子絵巻」を全巻カラー掲載し、酒吞童子絵巻の二大系統を対比。館所蔵「芦引絵」（重文）、軍記物の絵巻などをも含め、逸翁小林一三の絵巻コレクションを一挙公開。

▶A4判・96頁／定価1,050円

ISBN978-4-7842-1591-1

※入門 奈良絵本・絵巻

石川透著

室町時代後期から江戸時代中期にかけて作られた奈良絵本・絵巻。御伽草子から王朝物語、軍記物語、歌集、日記、随筆、幸若舞曲、仮名草子など広範にわたる奈良絵本・絵巻の世界を、簡単な解説とカラー写真でご紹介する。

▶B5判・126頁／定価2,100円

ISBN978-4-7842-1531-7

※いけばなにみる日本文化 明かされた花の歴史

鈴木榮子著

古代の供花から現代のいけばなにいたるまで、日本文化に一貫して継承されてきた精神とは、「生」への意識すなわち生命を尊ぶ思想である——いけばなの精神に学問的な光をあて、日本文化という大きな枠組みの中でとらえる。

▶46判・358頁／定価2,730円

ISBN978-4-7842-1557-5

没後220年 蕪村

逸翁美術館・柿衛文庫編

南画・俳諧・俳画の大成者、与謝蕪村(1716-83)の没後220年を記念し、逸翁美術館と柿衛文庫が共同で編集。南画・俳画・嫁入手・扇面・草稿・短冊・俳書・書簡など、新出作品もふくめ全176点を解説を付してカラーで収録。書簡については巻末に翻刻・解説を併載。

▶A4判・210頁／定価2,310円

ISBN4-7842-1162-4

与謝野晶子と小林一三

逸翁美術館編

与謝野晶子が小林一三に贈った「源氏物語礼讃歌」短冊全54枚(カラー)、これを詠むきっかけになった、上田秋成筆「源氏物語短冊貼交屏風」(カラー)をはじめ、その由来を記した手紙や、交流を物語る資料116点を収録した、逸翁美術館特別展覧会の展示図録。

▶A4判・94頁／定価1,050円

ISBN978-4-7842-1567-6

与謝野晶子の「源氏物語礼讃歌」

伊井春樹著

小林一三による与謝野家への物心両面での庇護下、「源氏物語礼讃歌」が詠まれた背景、いつ秋成の短冊屏風を目にしたのか、さらには晶子自身においても、代表作としての認識がどのように醸成されていったのか、逸翁美術館特別展覧会のテーマをより深く追い求めた一書。

▶46判・226頁／定価1,470円

ISBN978-4-7842-1568-3

—茶会記をひもとく—逸翁と茶会

逸翁美術館編

逸翁(小林一三)は、箕面有馬電気鉄道(後の阪急電鉄)を起業した40代前半頃、茶道の師となる表千家の生形貴一宗匠と出会い、本格的に茶人としての道を歩み始める。残された茶会記をひもとき、茶の湯との出会いや近代数寄者としての歩みを明らかにする。同名の展覧会図録。

▶A4判・92頁／定価1,050円

ISBN978-4-7842-1626-0

※茶の湯文化と小林一三

逸翁美術館編

逸翁美術館の新装オープンを記念して開催された特別展「茶人 逸翁 一茶の湯文化と小林一三」の展覧会図録。小林一三(逸翁)の世界を5つのテーマ「茶道との出会い」「逸翁の茶懐石」「逸翁と茶友」「逸翁の茶道観」「逸翁の愛した茶道具」にそってオールカラーで紹介。

▶A4判・148頁／定価2,000円

ISBN978-4-7842-1485-3

東アジアのなかの日本

上田正昭著

折口民俗学を継承する著者の昨今の論文や講演録などを選んで収録。日本列島の歴史や文化の実像をよりあざやかにするために、海を媒介とするアジアとのかかわり、とりわけ東アジアとの関係を重要なテーマとしてきた著者がまとめた最新の一書。

▶46判・376頁／定価2,520円

ISBN978-4-7842-1479-2

※古代日本の輝き

上田正昭著

日本の歴史と文化を支えている「古代的精神・古代的要素」とはなにかー広くアジア史をも視野に入れて折口民俗学を継承する著者が喜寿の節目にまとめた一書。【内容】アジアのなかの日本／北ツ海文化の再検討／『風土記』の伝承／石門心学の再発見／古代芸能の形成 他

▶46判・300頁／定価1,785円

ISBN4-7842-1167-5

インタビュー・エッセイや新刊情報を掲載した広報誌『鴨東通信』を年4回無料でお送りしています。

電話・fax・Eメールでお申し込み下さい。※印の書籍は外函・カバーに汚れ・傷みがございます。